



®

取扱説明書

安全に作業するためにお読み下さい

手動ガス切断器，手動ガス溶接器

アセチレン用

切断器（中型 大型 A 号）

溶接器（小型 中型）

▲重要

本取扱い説明書をよく読み、理解してから操作してください。
本取扱い説明書に従わない不適切な操作や整備は 重大な事故につながる危険性があります。
本取扱い説明書に従わない不適切な操作による事故については保証できません。
本取扱い説明書は常に製品のそばに置いて、いつでも利用できるようにしてください。
本取扱説明書以外に圧力調整器及び火口の取扱説明書も合わせてお読み下さい。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** E-mail:techno.center@trusco.co.jp
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号 お客様相談室 ☎0120-509-849
製造元 **ヤマト産業株式会社** <http://www.orange-book.com/>

1. はじめに

このたびは、吹管（吹管とは、切断器、溶接器、加熱器等を含めた総称）をお求め頂き、誠に有り難うございます。

本取扱説明書は、吹管を正しく安全に使用して頂くためのもので、記載事項を十分読まれ、今後とも長くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

当製品をご使用していただく前に必ず本取扱説明書を読み、十分ご理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

本取扱説明書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがありますのでご注意ください。

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたさまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、各種表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

▲危険：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

▲警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

▲注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

▲重要：当製品を取り扱う上で、法的規則等の当然守るべき基本的な事項に用いております。

▲警告

安全のため機器を使用する時は、いつも本取扱説明書に書かれている安全および操作手順を行ってください。
これらの手順を守れば火災、爆発、大きな損害および使用者のけがは防げます。
どの様な時でも使用中の機器が正常に作動しない時、または使用困難な時は直ちに使用を停止してください。問題が解決されるまで使用しないでください。

▲重要

燃料ガス及び酸素を用いて金属の溶接、切断または加熱作業を行う場合は、労働安全衛生規則にもとづき下記 1 ～ 3 のいずれかの資格が必要です。資格を有しない者は、当製品を使用してはいけません。

労働安全衛生規則 第 41 条（就業制限についての資格）

- 1．ガス溶接作業主任者免許を受けた者
- 2．ガス溶接技能講習を修了した者
- 3．その他厚生労働大臣が定める者

上記作業以外の作業に用いられる場合は、資格者の指導を受けたのち、本取扱説明書をよく読み、理解してから操作して下さい。

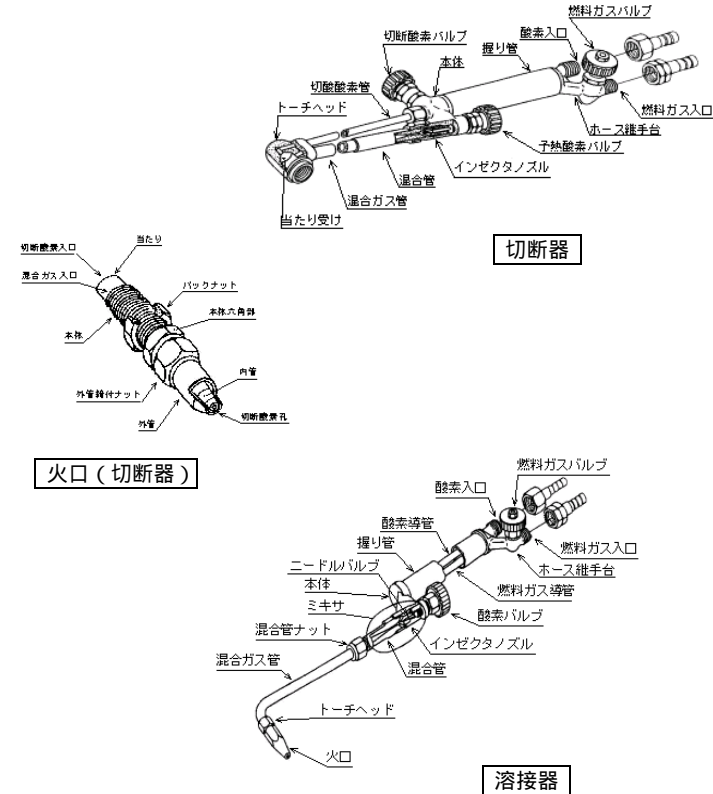
溶接または切断用のアセチレンガスの消費設備には、逆火防止装置をもうけることが義務づけられています。（一般高压ガス保安規則・第 60 条 13 号、14 号）

不整備の場合は、消費の基準違反により（高压ガス保安法、第 8 3 条 2 号）罰金が科せられます。

乾式安全器は、独立行政法人産業安全研究所の技術指針「ガス溶接・切断作業用乾式安全器指針」に基づいて、（社）産業安全技術協会が行う依頼試験を受け、これに合格した製品（指針適合品）または「アセチレン溶接装置の安全器及びガス集合装置の安全器の規格」（厚生労働省告示第 116 号）に基づいて、（社）産業安全技術協会が行う性能試験を受け、これに合格した製品（規格適合品）をご使用下さい。

2. 各部の構成及び名称

（参考図）



3. 表示の説明

業者名又はその略号	TRUSCO®
種類	1 形 1 号 1 形 1 号:M-X X は火口番号
製造年月日又はそれに代わる記号	数字 4 桁（火口は表示なし）
使用燃料ガス名	吹管:アセチレン 火口:表示ないものがアセチレン

4. 使用が認められている燃料ガスの種類

使用が認められている燃料ガスの種類：アセチレン

5. 仕様

5.1 手動ガス切断器

名称	形式	火口	使用圧力(MPa)		公称流量(L/h)			切断板
			酸素	アセチレン	切断酸素	予熱酸素	アセチレン	
中型	1 形	1	0.2	0.02	550	220	200	1～ 7
		2	0.25	0.02	1105	275	250	5～15
		3	0.3	0.02	2100	330	300	15～30
大型 A 号切断器	1 形 2 号	1	0.3	0.03	1620	330	300	1～15
		2	0.3	0.03	2810	440	400	10～50
		3	0.3	0.03	4850	550	500	50～100

5.2 手動ガス溶接器

名称	形式名	火口番号	使用圧力(MPa)		公称流量(L/h)	
			酸素	アセチレン	酸素	アセチレン
小型溶接器	B 形 0 号	50	0.2	0.02	55	50
		70	0.2	0.02	80	70
		100	0.2	0.02	110	100
		140	0.2	0.02	155	140
		200	0.2	0.02	220	200
中型溶接器	B 形 01 号	200	0.2	0.02	220	200
		225	0.25	0.02	250	225
		250	0.3	0.03	275	250
		315	0.3	0.03	350	315
		400	0.3	0.03	440	400
		450	0.3	0.03	500	450
		500	0.3	0.03	550	510

接続）酸素側：φ 8 ホース口（M16x1.5（右）袋ナット）

燃料ガス側(アセチレン)：φ10 ホース口（M16x1.5（左）袋ナット）

6. 安全に使用していただくために

▲危険

当製品を用いて行う金属の溶接、切断及び加熱作業において、人身事故や火災等の危険を減少するための安全予防処置として以下の事項を遵守して下さい。

- (1) 作業場所の換気
作業場所は良好な換気を行って下さい。通風換気の悪い場所での溶接、加熱作業は酸素不足になり酸欠の可能性があります。また、火気のある場所に燃料ガスを放出しないで下さい。
- (2) 作業場所の整理整頓
火口の火炎、溶接、切断の火花等で着火を起こす恐れのある可燃物が周囲にある場合は、5 m以上遠ざけて下さい。
高所で作業を行う場合、可燃物に火花がかからないよう遠く離れた場所に置くか、遮断物で保護して下さい。
- (3) 眼鏡、作業服の着用
火花及び光から目を保護するために、ガス溶接用保護眼鏡を必ず着用して下さい。難燃性の作業服、手袋を着用して下さい。油が付着した作業服、手袋は着用しないで下さい。
- (4) 損傷機器
損傷していたり、ガス洩れの疑いがある機器を使用しないで下さい。
また、摩耗、ひび割れ等損傷したホースは交換して下さい。
- (5) ガスの選定
当製品の燃料ガスには、アセチレンを使用して下さい。
他の種類の燃料ガスを使用した場合は逆火等が発生し、危険です。
- (6) 機器への油及びグリスの禁止
当製品には、潤滑油は不要です。油やグリスは高い濃度の酸素ガスがある場合は、燃えやすくなり着火や火災の危険があります。
- (7) 使用圧力での使用
当製品は、使用圧力範囲内で使用して下さい。低すぎる場合は逆火の原因となります。高すぎる場合は逆火や爆発及び機器の故障につながる危険があります。燃料ガスは 0.1MPa を超える圧力で使用しないで下さい。
- (8) 接続部気密の確認
接続部から洩れがあってはいけません。またネジ部やホース等の接続部に大きな力を加えてはいけません。接続部洩れ検査にはマッチ等の裸火を使用してはいけません。
気密の確認には石けん水等を用いて下さい。
- (9) ガス置換
火口に点火する前に酸素及び燃料ガス(アセチレン)を短時間放出して下さい。これはホース等に入っている可能性のある混合ガスを酸素及び燃料ガス(アセチレン)に置き換えるためです。混合ガスが残っていると逆火が発生する危険があります。

